

## A 様式

感染症の種類	主症状	潜伏期間	感染しやすい時期	出席停止期間および登園の目安
百日咳	特有な咳(コンコン咳き込んだ後、ヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸う)が特徴。発作性の咳が長期に続く	7~10日	抗菌剤を服用しない場合 咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまでまたは5日間の適切な 抗菌薬治療が終了するまで
麻疹(はしか)	初期には高熱、咳、鼻水、結膜充血、目やに等の症状。口内に白いブツブツが見られ、その後、顔や頸部に発疹が見られる	8~12日	発症1日前から発疹出現 後の4日後まで	解熱した後3日間を経過するまで
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発熱・耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫脹・痛み。まずは片側が腫れ、数日して反対側が腫れることが多い。	16~18日	発症3日前から耳下腺腫 脹後4日	耳下腺・顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5 日間を経過し、かつ全身状態が良好になっている こと
風しん	淡紅色の発疹や頸部に出現し、全身へ拡大。発熱やリンパ節腫脹を伴うことが多い	16~18日	発疹出現の7日前から7 日後くらい	発疹が消失するまで
水痘(水ぼうそう)	発疹が顔や頭に出現し、全身へ拡大。斑点状の赤い丘しんから始まり、水泡、最後にかさぶたとなる	14~16日	発疹出現1~2日前から かさぶた形成まで	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱 (プール熱・アデノウイ ルス感染症を含む)	主症状は高熱、扁桃腺炎、結膜炎	2~14日	発熱、充血等の症状が出 現した数日間	発熱、咽頭炎、結膜炎などの主要症状が消退した 後2日を経過するまで
流行性角結膜炎	目の充血、目やに感染力が強い	2~14日	充血、目やに等の症状が 出現した数日間	結膜炎の症状が消失していること
結核	慢性的な発熱、咳、疲れやすさ、食欲不振	2年以内	—	医師により感染の恐れがないと認められている こと
腸管出血性大腸菌 感染症(O157等)	水溶性下痢や腹痛、血便	10時間~6日	—	医師により感染の恐れがないと認められるまで
急性出血性結膜炎	強い目の痛み結膜の充血、結膜下出血 目やに、角膜の混濁	1~3日	—	医師が登園を認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	おもな症状は発熱・頭痛、嘔吐であり、急に 重症化する場合がある	4日以内	—	医師が登園を認めるまで